

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	頭蓋内・脊髄動静脈シャント疾患における臨床経過と治療成績に関する後方視的検討
② 対象者及び対象期間	<p>対象者：頭蓋内・脊髄動静脈シャント疾患と診断された患者（疑いを含む）が対象となる。</p> <p>対象期間：2000年1月から2029年3月まで</p> <p>過去の研究課題名：なし</p> <p>研究責任者：長谷川仁</p>
③ 概要	<p>頭蓋内・脊髄動静脈シャント疾患（動静脈奇形や硬膜動静脈瘻など）は、脳や脊髄を栄養する動脈が毛細血管を介さずに直接静脈に流れ込む病気である。通常、圧の高い動脈の血液は毛細血管を介して静脈に流れるが、動静脈シャントを形成すると動脈の血液が直接静脈に流れこみ、静脈の圧が上昇して頭蓋内に血流が続く場合には脳浮腫、脳出血などを引き起こす。治療には、カテーテル治療による塞栓物質(Onyx やNBCA)やコイルによる異常血管を塞栓する方法や、直達手術や放射線治療などが行われている。本研究では、頭蓋内・脊髄動静脈シャント疾患の自然歴を含めた臨床経過やカテーテル治療や開頭術などと他の治療モダリティとの連携および治療成績について後方視的に検討し、最適な治療方法を明らかとする。</p>
④ 申請番号	2024-0044
⑤ 研究の目的・意義	<p>無症候性も含めて動静脈シャント疾患と診断された患者（疑いを含む）のデータを解析することで治療を行なった患者のみならず、無症候で経過している患者の経過などの臨床的・画像的特徴を明らかにしてその最適な治療の組み合わせやタイミングを明らかとする。</p>
⑥ 研究期間	倫理委員会承認日から2029年3月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>電子カルテに記載されている病歴、検査や画像データを利用する。研究の成果は、学会や専門誌などの発表する可能性があるが、その場合でも個人情報公表されることはない。</p>
⑧ 利用または提供する情報の項目	カルテから抽出できる病歴（年齢、性別、治療内容など）、血液検査、画像検査（CT、MRI、脳血管撮影など）を利用する。
⑨ 利用の範囲	新潟大学脳研究所脳神経外科学分野、新潟大学救命救急医学分野
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳神経外科 准教授 長谷川 仁
⑪ お問い合わせ先	新潟大学脳研究所 脳神経外科 吉田 至誠（よしだ しせい）

脳神経外科医局 0653

Tel : 025-227-0653

E-mail : pktakago@yahoo.co.jp